

令和 6 年度

松戸市地域環境調査報告書



ダイサギ
小松調査員撮影



メジロ
岸岡調査員撮影

松戸市 環境部 環境保全課

はじめに

野鳥は自然のバロメーターともよばれ、自然の中で、他の生き物とも様々な関わりをもって生活している生き物のひとつです。人間もまたこの自然のしくみに深く関係し、自然の恵みを受けながら生活をしています。

松戸市では「松戸市環境基本計画」（令和5年3月策定）のなかで『めざすまちの将来像』として、「①地球温暖化対策の推進、②資源循環型社会の構築、③自然環境の保全と生き物との共生、④安全・安心で快適な生活環境の保全、⑤環境学習と環境活動の推進」を掲げています。

多くの野鳥を育めるような環境を守っていくことは、私たちにとって『人と環境にやさしい持続可能なまち まつど』（松戸市環境基本計画に掲げた「めざすまちの将来像」）となるための基本目標を達成する上で必要なことです。

松戸市では、平成11年度から「地域の人達に住まい周辺の環境状況を自ら調査する機会と、地域住民が同じ目標をもって地域独自の環境作りを始めるきっかけを提供する」ための『生きもの調査』事業を開始しました。

『生きもの調査』では野鳥のほかに、蝶やトンボ、セミ、バッタなどの生息状況も調査の対象としました。

平成17年度からは、調査内容の一部を見直し、対象を野鳥に絞った『地域環境調査』を実施し、平成23年度から環境度の指標を変更しました。

また、平成27年度からは、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）第2条第1項に定める特定外来生物（以下「特定外来生物」という。）の他、調査員が興味を持った野生の生きもの（以下「その他の生きもの」という。）についても報告いただく体制としました。

『地域環境調査』事業は、調査員による調査結果を市のホームページで公表することで、市民の皆さまに身近な環境について知っていただき、環境や自然について考えるきっかけをつくることを主な目的としています。

目 次

1	調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	調査範囲・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	調査の方法等・・・・・・・・・・	4
	(1) 調査期間・・・・・・・・・・	4
	(2) 調査方法・・・・・・・・・・	4
	(3) 評価方法・・・・・・・・・・	5
4	調査結果 前期（4月～9月）・・・・・	8
	各地区の点数・・・・・・・・・・	8
	近年の比較・・・・・・・・・・	9
	得点化されている野鳥の目撃された地区・・・・・	11
5	調査結果 年間（令和6年度）・・・・・	16
	各地区の目撃種類数・・・・・・・・・・	16
	月毎の目撃種類数・・・・・・・・・・	17
	近年の比較・・・・・・・・・・	18
	野鳥毎の目撃された地区・・・・・	20
6	参考資料・・・・・・・・・・	27
	○令和6年度における活動の実績・・・・・・・・・・	27
	○土地利用状況・・・・・・・・・・	28
	○特定外来生物・・・・・・・・・・	29
	○その他の生きもの・・・・・・・・・・	34
	○調査員の方からの提供写真（一部抜粋）・・・・・	36
	○地域環境調査員からの短信・・・・・・・・・・	40
	おわりに・・・・・・・・・・	45

1 調査目的

松戸市で実施している地域環境調査には次のような目的があります。

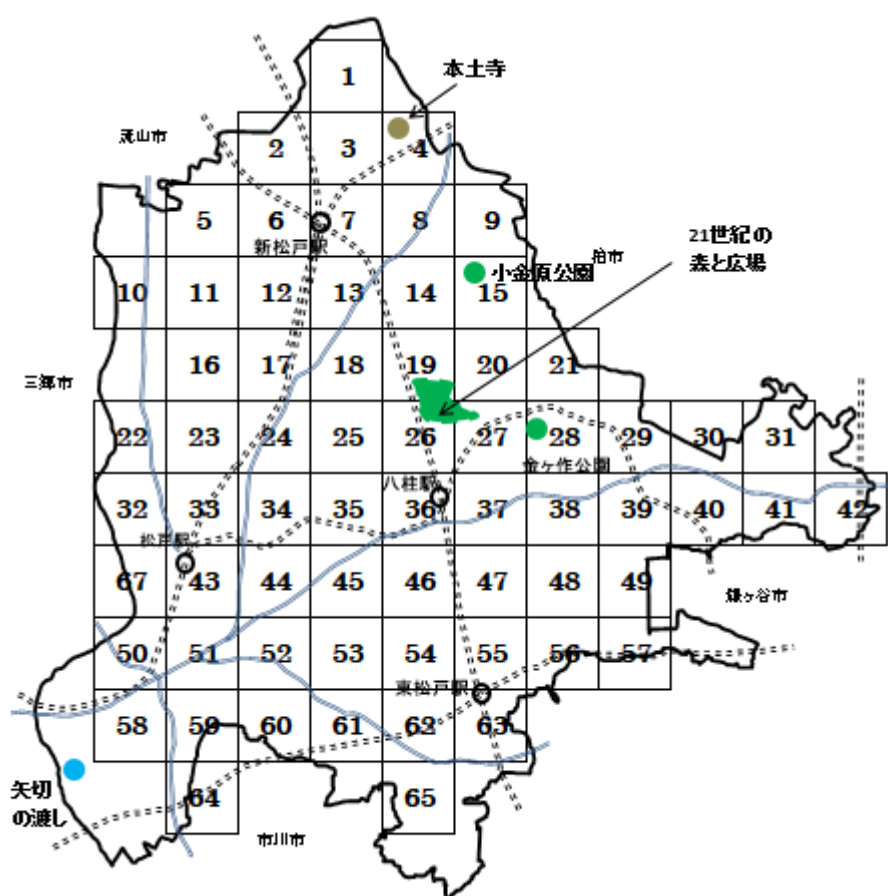
- (1) 地域の野鳥を地域の人が自ら観察・調査することで、地域の環境についての関心を高めること。
- (2) 地域で観察された野鳥の変化を経年的に捉えることで、地域環境全般の総合的な評価を得ること。
- (3) (1) および (2) により、地域環境の問題点を浮き彫りにし、地域独自の自発的な取り組みの活力を高めること。
- (4) 松戸市環境基本計画の見直し等の総合指標として活用し、環境計画推進の実効性を向上すること。

2 調査範囲

松戸市全域を図-1のように1km四方の66調査区に分け、それぞれの地区に地域環境調査員(市民ボランティア)を配置し、担当調査区域内の環境を調査します。なお、令和5年度より、地区No.67(江戸川河川敷、ふれあい松戸川、中部小学校周辺)を追加した66調査区で構成しております。

※地区No.66は、市内の野鳥観察団体(通称：66会)と混同する恐れがあることから除外しております。

図-1 調査区域図



表－1 令和6年度地域環調査（各地区の主な施設・場所）

地区 No	地 区 名	調査場所
1	幸田地区	幸田鉄塔通り、富士川・坂川沿い、幸田第1・2・3公園、浅間公園 等
2	横須賀地区	横須賀中央公園、坂川付近、大勝院、大倉記念病院、小金高校周辺 等
3	大金平地区	東漸寺、鹿嶋神社、本土寺、中金杉、広徳寺、大谷口歴史公園、大倉記念病院 等
4	東平賀地区	根本内城跡公園、富士川周辺、本土寺参道、北小金駅北口商店街、東平賀公園 等
5	新松戸地区	新松戸西小、南小、西パーク街、サンライト街区、あおぎり公園、もくれん公園、旭町田畑、稲荷大橋、坂川放水路左岸堤 等
6	新松戸地区	2番街、8番街、新松戸中央公園、けやき通り、坂川 等
7	幸谷地区	大谷口新橋、下山公園、溜脇公園、関さんの森N02、東漸寺、山王公園、こどもの森、幸谷斜面林、新松戸第1公園、水琴橋 等
8	久保平賀地区	清ヶ丘小金公園、ユウカリ交通公園 等
9	根本内地区	根本内歴史公園及び広池学園との市境 等
10	主水新田地区	まこも池、主水新田地区、江戸川河川敷、主水池、稲荷神社、栄町・旭町田んぼ付近 等
11	旭町地区	はすだ公園、けやき公園 等
12	西馬橋地区	新坂川、相川公園、新松戸南公園、中道公園、西馬橋1～3丁目、広田公園 等
13	幸谷地区	二三ヶ丘公園、南谷公園 等
14	八ヶ崎地区	金谷寺周辺、八ヶ崎第二小学校周辺、すずめ公園 等
15	小金原地区	小金原7丁目 等
16	栄町地区	下通橋、香取神社、吉岡梨園、長津道橋(坂川)、旭小、馬橋高手前六間川、日本大学周辺 等
17	西馬橋地区	全域(ロード) 等
18	馬橋地区	中和倉公園、馬橋第二公園 等
19	八ヶ崎地区	21世紀の森と広場 等
20	栗ヶ沢地区	はくちょう公園、栗ヶ沢中、ひばり公園、貝の花小、高木小学校、千葉西病院 等
21	金ヶ作地区	金ヶ作自然公園 等

地区 No	地 区 名	調査場所
22	古ヶ崎地区	江戸川河川敷
23	古ヶ崎地区	古ヶ崎第二公園、栄町第二公園 等
24	北松戸地区	中台公園 等
25	上本郷地区	松戸運動公園、県立松戸高校周辺 等
26	千駄堀地区	21 世紀の森と広場、香取神社周辺、松戸中央霊園 周辺 等
27	常盤平地区	21 世紀の森と広場、常盤平団地 等
28	常盤平地区	金ヶ作公園、ふよう公園 等
29	五香六実地区	金ヶ作周辺 等
30	六高台地区	北丘第二公園 等
31	高柳新田地区	六高台 3～6 丁目、六実中央公園、グリーンベルト (桜並木)、六実中学校 等
32	古ヶ崎地区	江戸川河川敷、樋野口 等
33	根本地区	中町児童公園、松戸市役所 等
34	南花島地区	南花島公園、上本郷駅 等
35	松戸新田地区	稔台駅、松戸運動公園 等
36	日暮地区	千駄堀、駒形公園周辺 等
37	常盤平地区	牧の原付近 等
38	初富飛地地区	牧の原団地公園、調整池周辺、金比羅神社、しら かし公園、けやき通り 等
39	松飛台地区	松飛台小学校周辺 等
40	五香六実地区	元山駅、ふれあい公園 等
41	六実地区	スポーツ広場周辺、六実 1～3 丁目 等
42	六実地区	六実 3～5 丁目 等
43	松戸地区	坂川周辺、松戸中央公園、松戸神社 等
44	胡録台地区	松ヶ丘小学校周辺、神明神社 等
45	稔台地区	稔台工業団地、和名ヶ谷地区 等
46	稔台地区	河原塚小周辺
47	河原塚地区	八柱霊園
48	松飛台地区	八柱霊園
49	松飛台地区	松戸南郵便局 等
50	小山地区	江戸川河川敷、南部小学校、坂川、川端道他、角 町周辺等
51	三矢小台地区	戸定が丘歴史公園、千葉大園芸学部 等

地区 No	地 区 名	調査場所
52	二十世紀が丘地区	和名ヶ谷中、和名ヶ谷クリーンセンター周辺 等
53	和名ヶ谷地区	和名ヶ谷、国分川周辺等
54	紙敷地区	河原塚中学校周辺、国分川周辺、春日神社、春木川 等
55	紙敷地区	東松戸駅周辺、八柱霊園周辺、東松戸駅周辺 等
56	松飛台地区	松飛台駅、関台公園 他
57	松飛台地区	泉ヶ丘 1 号緑地
58	中矢切地区	野菊の墓、下矢切 264 周辺 等
59	三矢小台地区	三矢小台公園、寺沢公園、鴻之台公園、神明公園、矢切神社 等
60	二十世紀が丘地区	大橋公園、胡録神社 等
61	秋山地区	松戸向陽高校周辺 等
62	秋山地区	もえぎの風公園周辺 等
63	高塚新田地区	高塚十字路 等
64	矢切地区	矢切地区、栗山浄水場、立身台公園 等
65	高塚新田地区	東部市民センター
67	松戸地区	江戸川河川敷、ふれあい松戸川、中部小学校周辺

3 調査の方法等

(1) 調査期間

各年度の 4 月～3 月末までの 1 年間を調査期間としています。

そのうち、春～夏の期間の 4 月～9 月を“前期”、秋～冬の期間の 10 月～3 月を“後期”とし、半年ごとに分けています。

表－2 令和 6 年度の調査期間

前期	令和 6 年 4 月～令和 6 年 9 月（春～夏）
後期	令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月（秋～冬）

(2) 調査方法

調査員は、各自で選んだ担当調査区内で比較的環境度の高いと思われる（公園や神社、田畑、河川敷等）場所において、可能な回数の野鳥観察を実施します。野鳥の種類が分かったものについて○を調査票に記入し、半年ごとに事務局（市）へ報告します。

(3) 評価方法

評価にあたっては、公益財団法人日本鳥類保護連盟（以下：公財）日本鳥類保護連盟）が作成した「環境ものさし」を用いて行います。

この「環境ものさし」では、どのような環境にも生息できる鳥から豊かな自然環境にしか生息できない鳥まで、指標となるもの 50 種類選出されています。ドバトのような身近にいる鳥には 1 点、クマタカのような森林地帯にいるような鳥には 10 点など、それぞれに 1 点～10 点（表－3）の点数がつけられています。

この評価方法に基づき、観察された野鳥の合計点を算出することによって、その地域の環境度を知ることができます。

なお、「環境ものさし」では、鳥の繁殖期間にあたる春～夏（4 月～9 月）の期間が点数の対象となっています。

環境度の算出対象期間：春～夏 4 月～9 月

表－3 「環境ものさし」における野鳥の点数

10 点	クマタカ	7 点	アカゲラ	5 点	ヒバリ
9 点	アカショウビン	7 点	オオアカゲラ	4 点	コゲラ
9 点	サシバ	7 点	オオタカ	4 点	メジロ
	フクロウ	7 点	キビタキ	4 点	キジ
8 点	アオバズク	7 点	センダイムシクイ	4 点	セグロセキレイ
8 点	アオバト	6 点	ホトトギス	3 点	カワラヒワ
	ツツドリ		ヤマガラ	3 点	キジバト
8 点	クロツグミ	6 点	エナガ	3 点	シジュウカラ
8 点	コガラ		イカル	3 点	ツバメ
	ゴジュウカラ	5 点	ウグイス	3 点	コシアカツバメ
8 点	サンコウチョウ	5 点	ホオジロ	3 点	ヒヨドリ
8 点	サンショウクイ	5 点	カッコウ	3 点	ムクドリ
8 点	ミソサザイ	5 点	モズ	2 点	スズメ
	オオルリ	5 点	カワセミ	2 点	ハクセキレイ
8 点	ヤマドリ	5 点	キセキレイ	2 点	ハシボソガラス
7 点	アオゲラ	5 点	セッカ	1 点	ドバト
			オオヨシキリ	1 点	ハシブトガラス

図-2 野鳥の点数（出典：公財）日本鳥類保護連盟）



例えば、スズメを観察すれば2点になりますが、1羽でも多数観察しても同じ2点になります。また、同じ4点の枠にいるコゲラ若しくはメジロの場合には、どちらか又は両方観察しても、同じ4点のみになります。

これらの点数を合計し、点数により地域の環境度を評価します。評価の基準は点数により5段階に分かれ、環境の状態は表-4のようになります。

表-4 環境度・点数と環境の状態

合計点と環境	環境の状態
A : 121 点以上	<p>Bまでの鳥に加え、ツツドリ、オオルリ、クロツグミのような森林性の鳥が見られるようでしたら、そこは里山から奥山化へと進んだ山地的な環境と言えるでしょう。</p> <p>また、森林生態系の頂点に立つクマタカや、森に棲むカワセミの仲間であるアカショウビンが見られれば、そこは私たちの生活圏からかなり離れた、自然豊かな山地の森林です。</p>
B : 81～120 点	<p>Cまでの鳥に加え、ホトトギスやヤマガラ、エナガのようなまとまった森林に生息する鳥が見られるようでしたら、そこは丘陵や谷津田のある里山的な環境と言えるでしょう。</p> <p>もし、サンバなどが見られれば、そこは典型的な里山です。里山は、昔から人によって利用・管理されてきた場所ですが、今では自然豊かな環境として注目されています。</p>
C : 41～80 点	<p>Dまでの鳥に加え、ヒバリのように草地に生息する鳥、セグロセキレイのように水辺を利用する鳥、ホオジロやモズのように林を利用する鳥が見られるようでしたら、そこは市街地から離れた広がりのある田園的な環境と言えるでしょう。</p> <p>田園地帯は人によって作られた空間ですが、生物の生息に適した環境が比較的残っています。</p>
D : 21～40 点	<p>Eの鳥に加え、シジュウカラやメジロ、ヒヨドリなど、ある程度まとまった木々があれば生息できる鳥が見られるようでしたら、そこは市街地の中でも比較的緑のある環境と言えるでしょう。</p> <p>このような緑地の多くは公園として利用されていますが、同時にそこは市街地に棲む生息空間となる重要な場所です。</p>
E : 1～20 点	<p>カラスやドバトのように様々な環境への順応力の高い鳥や、スズメのように人の生活に依存するような鳥しか見られないようでしたら、そこは市街地の中でも都市化の進んだ環境と言えるでしょう。</p> <p>多様な生物の棲む環境としては適していません。</p>

4 調査結果 前期（4月～9月）：環境度の評価対象期間

令和6年度前期に一羽でも野鳥の発見報告があった地区は、66地区中50地区でした。「環境ものさし」において点数化されている野鳥50種については、50種中39種の報告がありました。

報告された50種中39種の野鳥を点数化した結果、市全体での平均点は52点（前期に一度でも観察された野鳥を点数化し、報告のあった調査区数で割った平均点）となり、環境度はA～Eの5段階評価のうち松戸市としての平均はCの評価となりました。

地区毎に見てみますと、Aに属する121点以上となった地区は2地区、Bに属する81点以上120点以下となった地区は2地区、Cに属する41点以上80点以下となった地区は29地区でありました。

次の表－5に各地区の点数を示しております。

表－5 各地区の点数（4月～9月） （単位：点）

地区番号	1	2	3	4	5	6	7
調査員数	3	3	1	2	3	2	1
点数	67	75	43	67	70	35	68
地区番号	8	9	10	11	12	13	14
調査員数	－	1	2	2	3	－	－
点数	－	14	65	66	50	－	－
地区番号	15	16	17	18	19	20	21
調査員数	2	1	1	－	1	－	1
点数	41	46	41	－	59	－	34
地区番号	22	23	24	25	26	27	28
調査員数	2	1	1	1	2	1	－
点数	68	44	11	63	46	40	－
地区番号	29	30	31	32	33	34	35
調査員数	1	1	1	3	1	－	1
点数	32	30	76	130	14	－	39
地区番号	36	37	38	39	40	41	42
調査員数	1	1	－	1	3	1	1
点数	33	29	－	34	55	50	2
地区番号	43	44	45	46	47	48	49
調査員数	3	1	－	2	2	1	1
点数	44	17	－	31	66	27	35
地区番号	50	51	52	53	54	55	56
調査員数	2	2	1	1	2	－	－
点数	86	51	51	77	74	－	－
地区番号	57	58	59	60	61	62	63
調査員数	－	3	1	1	1	－	－
点数	－	92	73	61	67	－	－
地区番号	64	65	67	合計 2622 点 ÷ 50 地区 (報告のあった地区数) ＝松戸市の平均 52 点 → 環境度：C			
調査員数	－	－	5				
点数	－	－	133				

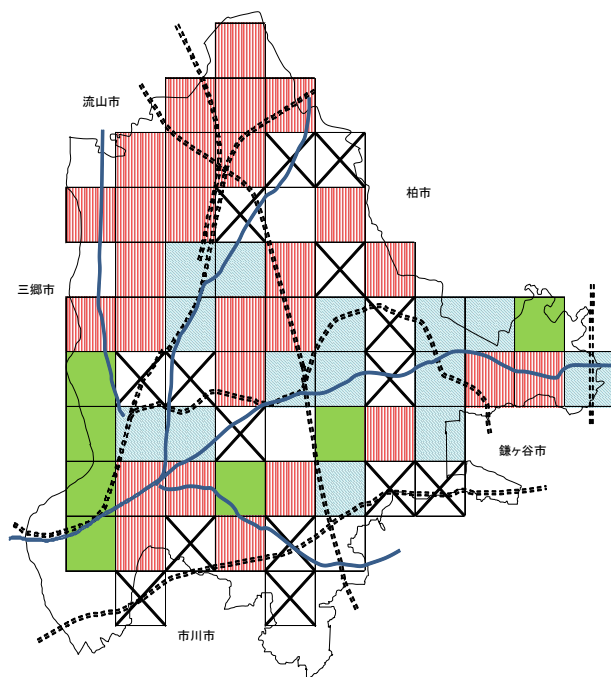
※ は、環境度がA（121点以上）の地区になります。

※ は、環境度がB（81点以上）の地区になります。

次は、令和5年度と6年度の各地区の状況を図－3及び図－4にて示しています。

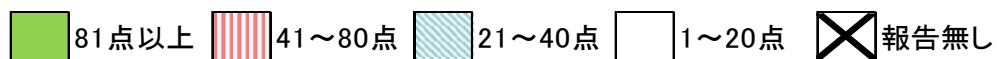
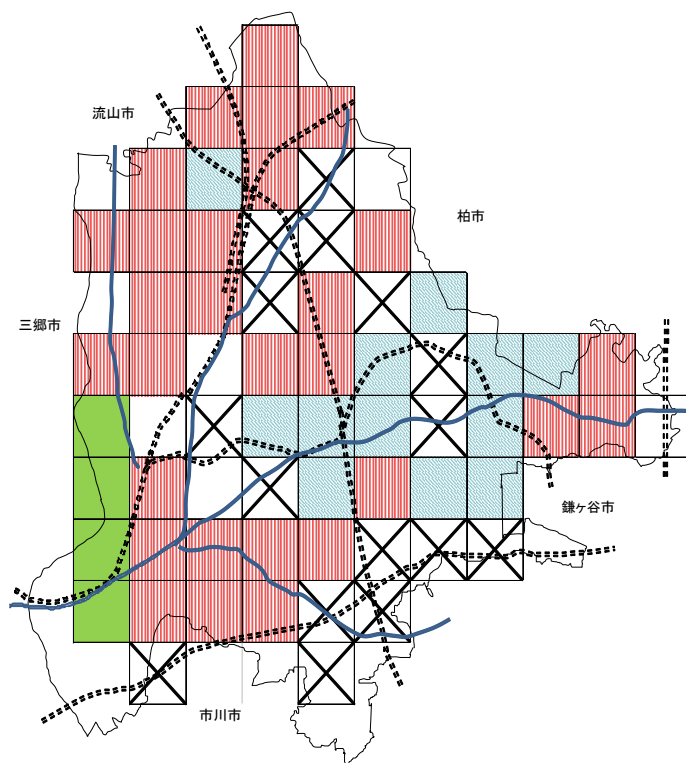
図－3 地区別点数（令和5年度）

52点／環境度：C



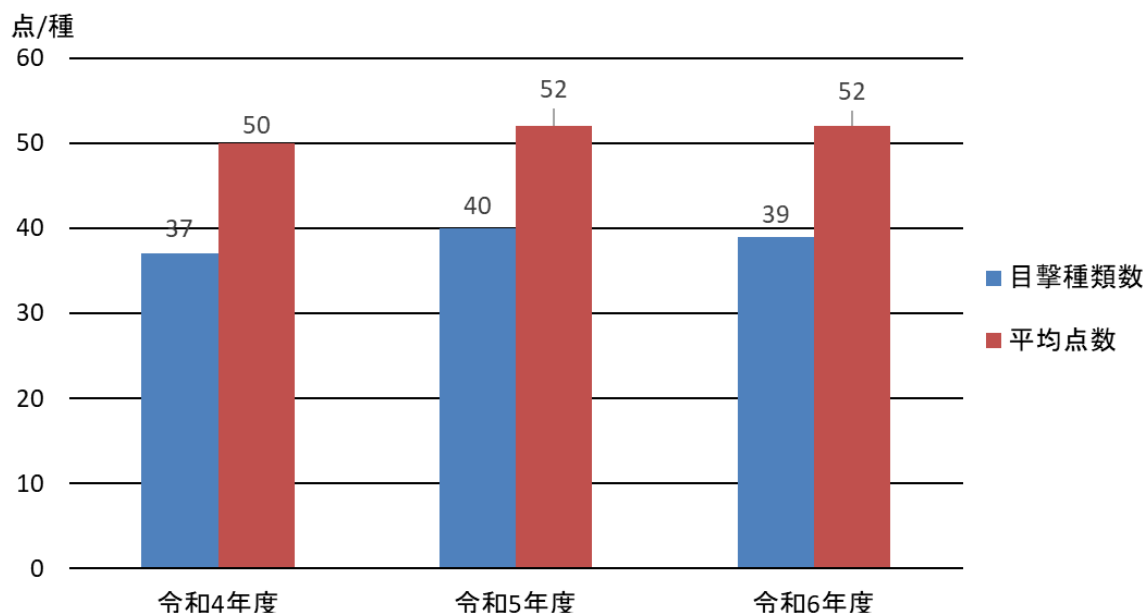
図－4 地区別点数（令和6年度）

52点／環境度：C



次は、経年の比較として3年分の日撃種類数及び平均点数を表-6にて示しています。

表-6 令和4年度～6年度（前期）における松戸市の点数等について




※目撃種類数は、得点化されている50種になります。













次は、野鳥別に目撃された地区を表－7 のとおり示しています。













表－7 得点化されている野鳥の目撃された地区

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
1		ドバト	1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 22, 23, 25, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
1		ハシブトカラス	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
2		スズメ	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
2		ハクセキレイ	1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 22, 25, 26, 27, 29, 31, 32, 35, 37, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
2		ハシボソカラス	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 27, 29, 31, 32, 35, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
3		カワラヒワ	1, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 22, 31, 32, 39, 40, 41, 43, 47, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
3		キジバト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
3		コシアカツバメ	
3		ツバメ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 22, 23, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
3		シジュウカラ	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 19, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
3		ヒヨドリ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
3		ムクドリ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 22, 23, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
4		キジ	1, 2, 4, 10, 22, 23, 25, 32, 50, 58, 67
4		コゲラ	1, 2, 3, 4, 5, 7, 12, 15, 25, 27, 31, 32, 47, 50, 51, 52, 53, 58, 59, 60, 61, 67
4		メジロ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 11, 12, 17, 19, 22, 26, 29, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
4		セグロセキレイ	1, 4, 11, 17, 21, 22, 23, 26, 32, 35, 39, 40, 43, 49, 50, 53, 54, 67
5		ウグイス	2, 4, 5, 7, 10, 11, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 49, 50, 51, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
5		ホオジロ	1, 2, 4, 10, 19, 22, 31, 32, 41, 50, 54, 58, 67
5		オオヨシキリ	1, 5, 10, 11, 22, 25, 31, 32, 50, 54, 58, 61, 67
5		セッカ	5, 10, 11, 32, 50, 58, 67
5		カッコウ	31, 32
5		モズ	1, 3, 4, 5, 7, 10, 11, 16, 17, 21, 22, 25, 31, 32, 40, 41, 52, 53, 54, 58, 67
5		カワセミ	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 12, 16, 17, 19, 22, 26, 31, 32, 43, 46, 53, 54, 58, 61, 67
5		キセキレイ	23, 46, 49
5		ヒバリ	1, 2, 4, 5, 10, 11, 12, 16, 22, 23, 25, 32, 37, 40, 41, 50, 53, 58, 61, 67
6		イカル	32, 67

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
6		エナガ	2, 3, 5, 7, 12, 19, 25, 27, 30, 31, 32, 36, 40, 47, 50, 51, 52, 53, 58, 59, 60, 67
6		ヤマガラ	2, 3, 7, 19, 23, 26, 27, 31, 47, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
6		ホトトギス	15, 25, 32, 35
7		アオゲラ	
7		アカゲラ	47
7		オオアカゲラ	
7		オオタカ	11, 32, 50, 53, 59, 61, 67
7		キビタキ	7, 32, 59, 67
7		センダイムシクイ	59
8		アオバズク	
8		アオバト	
8		ツツドリ	32, 47, 67

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
8		オオルリ	32, 59
8		ミソサザイ	
8		クロツグミ	
8		コガラ	2
8		ゴジュウカラ	67
8		サンコウチョウ	67
8		サンショウクイ	
8		ヤマドリ	
9		アカショウビン	
9		サシバ	
9		フクロウ	21
10		クマタカ	

5 調査結果 年間（令和6年度）

令和6年度中に一度でも野鳥の発見報告があった地区は、66地区中51地区でした。観察報告のあった目撃種類数は、年間で128種類でした。

地区毎に見てみますと、61種類以上の地区は3地区あり、41種類以上60種類以下の地区は13地区でした。

次は、表-8に各地区の野鳥目撃種類数を示しております。

表-8 各地区の目撃種類数（年間）

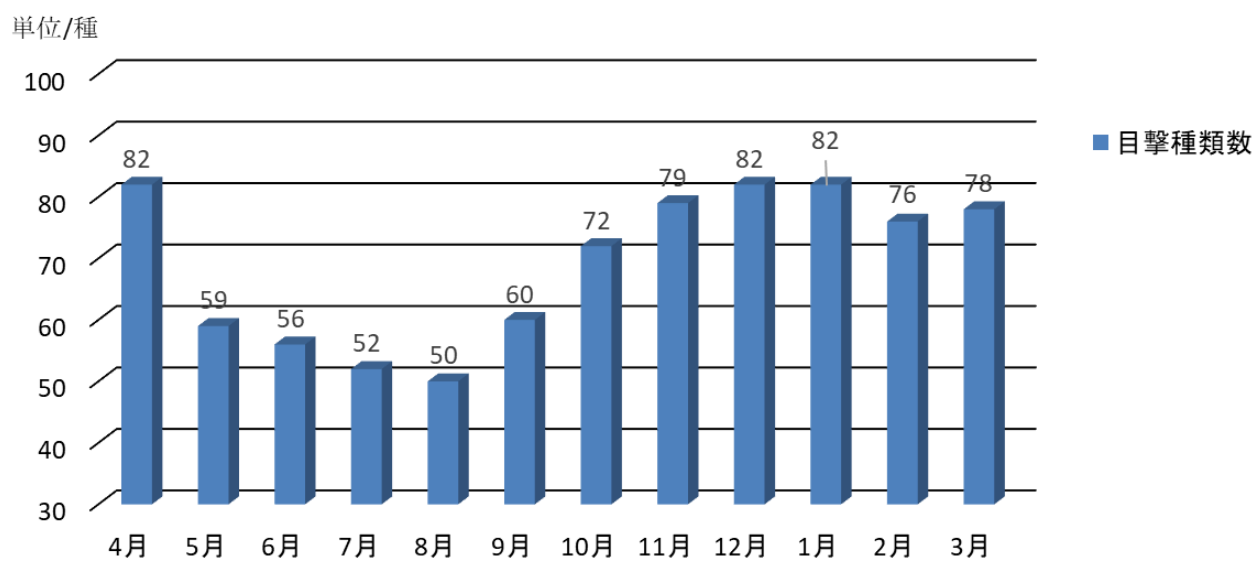
（単位：種）

地区番号	1	2	3	4	5	6	7
調査員数	3	3	1	2	3	2	1
種類数	45	43	22	46	53	27	35
地区番号	8	9	10	11	12	13	14
調査員数	－	1	2	2	3	－	－
種類数	－	6	56	49	42	－	－
地区番号	15	16	17	18	19	20	21
調査員数	2	1	1	－	1	－	1
種類数	23	33	27	－	53	－	23
地区番号	22	23	24	25	26	27	28
調査員数	2	1	1	1	2	1	－
種類数	48	22	10	22	39	19	－
地区番号	29	30	31	32	33	34	35
調査員数	1	1	1	3	1	－	1
種類数	13	13	40	96	10	－	18
地区番号	36	37	38	39	40	41	42
調査員数	1	1	－	1	3	2	1
種類数	17	13	－	16	18	20	1
地区番号	43	44	45	46	47	48	49
調査員数	3	1	－	2	2	1	1
種類数	29	8	－	24	31	21	16
地区番号	50	51	52	53	54	55	56
調査員数	2	2	1	1	2	－	－
種類数	48	27	24	51	42	－	－
地区番号	57	58	59	60	61	62	63
調査員数	－	3	1	1	1	－	1
種類数	－	65	30	26	41	－	1
地区番号	64	65	67				
調査員数	－	－	5				
種類数	－	－	79				

※ は、目撃種類数が61種類以上の地区になります。

次の表－9 では令和 6 年度における月別に目撃された種類数を示しています。

表－9 令和 6 年度における月毎の野鳥の目撃種類数



次は、令和5年度と令和6年度の各地区で目撃された種類数の状況を図-5及び図-6にて示しています。

図-5 地区別目撃種類数（令和5年度）
134 種類／年間

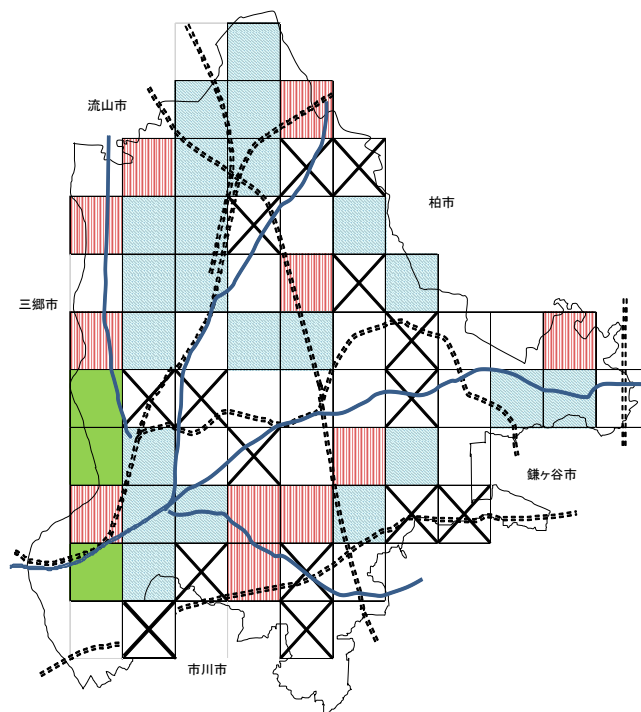
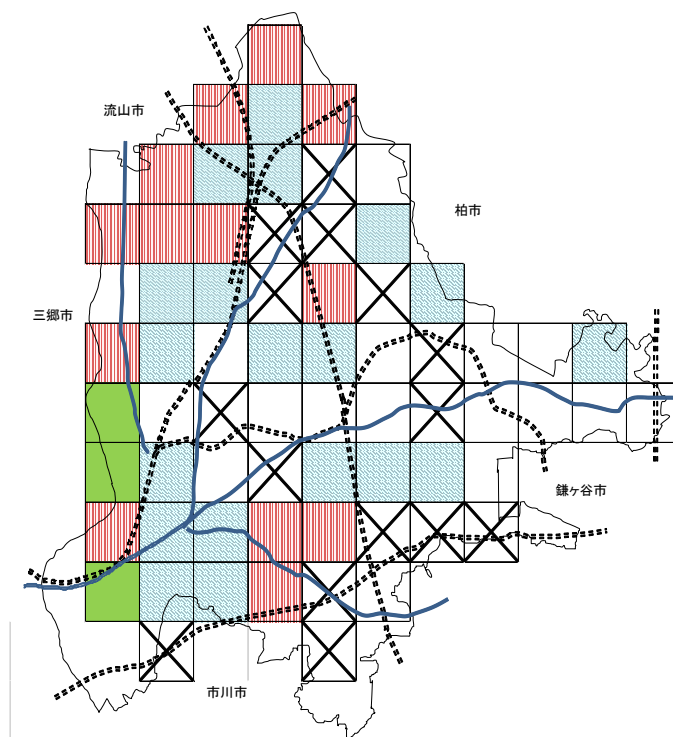


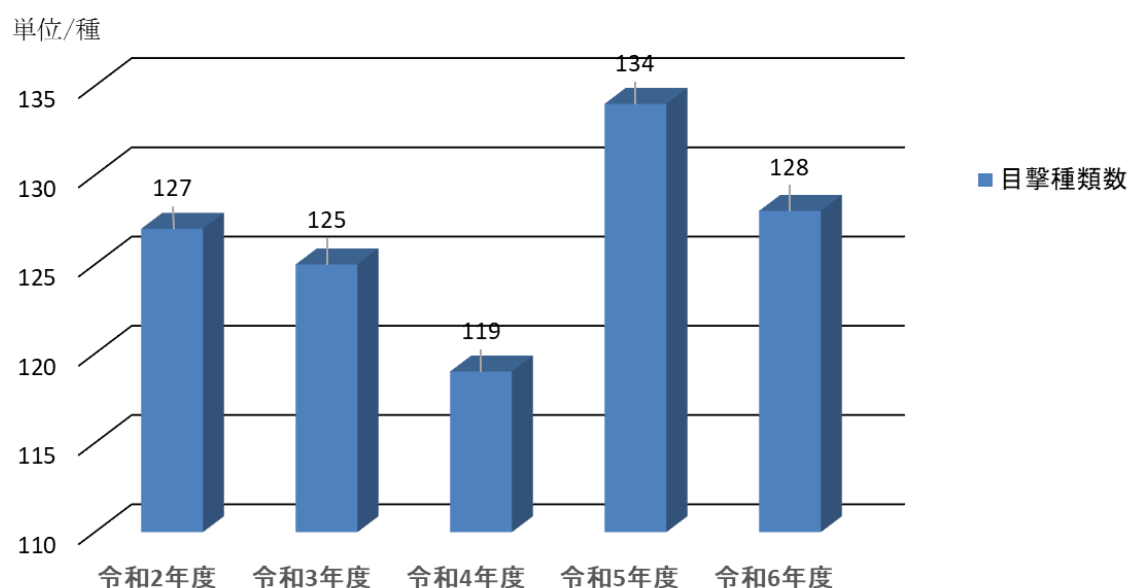
図-6 地区別目撃種類数（令和6年度）
128 種類／年間



61種以上
 41～60種
 21～40種
 1～20種
 報告無し

次は、経年の比較として5年分の目撃された種類数を表－10にて示しています。

表－10 令和2年度～令和6年度における目撃種類数



目撃された野鳥の種類数を比べてみると、昨年より、種類数が減少しています。年度によって調査員の経験や調査回数、調査員の配置された人数などに影響されると考えられます。

なお、観察された場所を見てみると河川などの水面・田畑・樹林地や街路樹、植林等の樹木が多いところなどで多くの野鳥が観察される結果となっています。

次の表－11 では、令和6年度に野鳥毎に目撃された地区を示しています。

表－11 令和6年度において野鳥の目撃された地区（年間）

◇以下得点の対象となっている野鳥（五十音順）

種類	地区数	目撃された地区
アオゲラ	0	
アオバト	1	19
アカゲラ	2	31, 47
イカル	5	31, 32, 51, 60, 67
ウグイス	45	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
エナガ	31	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 12, 19, 21, 25, 26, 27, 30, 31, 32, 35, 36, 40, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 58, 59, 60, 61, 67
オオアカゲラ	0	
オオタカ	12	5, 11, 19, 21, 32, 47, 50, 53, 54, 58, 61, 67
オオヨシキリ	13	1, 5, 10, 11, 22, 25, 31, 32, 50, 54, 58, 61, 67
オオルリ	2	32, 59
カッコウ	2	31, 32
カワセミ	25	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 22, 26, 31, 32, 43, 46, 50, 52, 53, 54, 58, 61, 67
カワラヒワ	32	1, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 22, 31, 32, 39, 40, 41, 43, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
キジ	11	1, 2, 4, 10, 22, 23, 25, 32, 50, 58, 67
キジバト	47	1, 2, 3, 4, 6, 5, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
キセキレイ	11	4, 7, 19, 23, 26, 27, 32, 46, 49, 53, 67
キビタキ	7	3, 7, 17, 32, 47, 59, 67
クマタカ	0	
クロツグミ	0	
コガラ	1	2
コゲラ	30	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 12, 15, 17, 19, 21, 25, 26, 27, 31, 32, 39, 41, 47, 50, 51, 52, 53, 58, 59, 60, 61, 63, 67
コシアカツバメ	0	
ゴジュウカラ	1	67
サシバ	3	19, 54, 67
サンコウチョウ	1	67
サンショウクイ	0	

種類	地区数	目撃された地区
シジュウカラ	46	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
スズメ	48	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
セグロセキレイ	22	1, 4, 11, 12, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 26, 27, 32, 35, 39, 43, 49, 50, 53, 54, 58, 67
セッカ	8	5, 10, 11, 22, 32, 50, 58, 67
センダイムシクイ	1	59
ツツドリ	5	10, 19, 32, 47, 67
ツバメ	45	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 22, 23, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
ドバト	43	1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 22, 23, 25, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
ハクセキレイ	44	1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 19, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
ハシブトガラス	48	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
ハシボソガラス	45	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
ヒバリ	21	1, 2, 4, 5, 10, 11, 12, 16, 22, 23, 25, 32, 40, 41, 48, 50, 53, 58, 60, 61, 67
ヒヨドリ	48	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
フクロウ	2	21, 50
ホオジロ	14	1, 2, 4, 5, 10, 19, 22, 31, 32, 41, 50, 54, 58, 67
ホトトギス	5	15, 25, 26, 32, 35
ミソサザイ	2	32, 67
ムクドリ	46	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67

種類	地区数	目撃された地区
ヒバリ	21	1, 2, 4, 5, 10, 11, 12, 16, 22, 23, 25, 32, 40, 41, 48, 50, 53, 58, 60, 61, 67
ヒヨドリ	48	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
フクロウ	2	21, 50
ホオジロ	14	1, 2, 4, 5, 10, 19, 22, 31, 32, 41, 50, 54, 58, 67
ホトトギス	5	1, 5, 25, 26, 32, 35
ミソサザイ	2	32, 67
ムクドリ	46	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52
メジロ	47	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
モズ	36	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 21, 22, 25, 26, 31, 32, 36, 40, 41, 43, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
ヤマガラ	26	2, 3, 5, 6, 7, 15, 19, 21, 23, 26, 27, 31, 32, 36, 43, 47, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
ヤマドリ	0	

◇以下得点の対象となっていない野鳥（五十音順）

種 類	地区数	目撃された地区
アオサギ	25	1, 2, 3, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 15, 17, 19, 21, 22, 26, 31, 32, 43, 50, 52, 53, 54, 58, 61, 67
アオジ	22	1, 2, 3, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 15, 17, 19, 21, 22, 26, 31, 32, 43, 50, 52, 53, 54, 58, 61, 67
アカハラ	11	1, 4, 7, 15, 17, 31, 32, 53, 58, 61, 67
アトリ	2	2, 32
アマサギ	3	22, 32, 58
アメリカヒドリ		
アリスイ	4	10, 32, 43, 67
イカルチドリ	2	4, 32
イソシギ	11	1, 4, 5, 10, 11, 12, 22, 32, 53, 58, 67
イワツバメ	4	1, 5, 53, 54
エゾビタキ	3	3, 32, 47
エゾムシクイ	1	59
オオジシギ	2	11, 32
オオジュリン	4	10, 32, 53, 58
オオハクチョウ	2	1, 2
オオバン	25	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 22, 24, 26, 32, 33, 43, 50, 53, 54, 58, 61, 67
オカヨシガモ	4	5, 10, 19, 26
オシドリ	1	19
オナガ	44	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 29, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
オナガガモ	6	19, 26, 32, 46, 53, 54
カイツブリ	17	1, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 16, 19, 22, 22, 26, 32, 50, 53, 54, 58, 67
カケス	7	19, 23, 32, 47, 58, 59, 67
カシラダカ	6	10, 19, 22, 32, 58, 67
カモメ	4	2, 5, 12, 17
カルガモ	29	1, 2, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 22, 23, 24, 26, 27, 31, 32, 33, 43, 46, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 61, 67
カワウ	25	1, 2, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 22, 23, 26, 32, 33, 43, 46, 50, 53, 54, 58, 61, 67
カンムリカイツブリ	12	1, 2, 4, 5, 10, 11, 16, 22, 32, 50, 58, 67

種 類	地区数	目撃された地区
キンクロハジロ	7	5, 10, 11, 19, 32, 58, 67
クイナ	6	1, 4, 12, 32, 61, 67
クサシギ	1	32
コアジサシ	6	10, 11, 22, 32, 58, 67
ゴイサギ	11	5, 11, 12, 16, 17, 19, 31, 32, 53, 58, 67
コガモ	18	1, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 16, 19, 26, 31, 32, 46, 53, 54, 58, 61, 67
コサギ	26	1, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 22, 26, 31, 32, 35, 40, 43, 46, 48, 50, 53, 54, 58, 61, 67
コジュケイ	1	21
コチドリ	12	1, 5, 11, 16, 22, 32, 53, 54, 58, 60, 61, 67
コムクドリ	7	22, 32, 53, 59, 60, 61, 67
シメ	9	3, 19, 31, 32, 47, 58, 59, 61, 67
ジョウビタキ	31	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 17, 19, 21, 22, 31, 32, 36, 37, 41, 43, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
シロハラ	18	7, 10, 12, 19, 21, 26, 27, 31, 32, 47, 51, 52, 53, 58, 59, 60, 61, 67
スズガモ	1	19
セグロカモメ	4	10, 32, 58, 67
ダイサギ	20	1, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 16, 19, 22, 26, 31, 32, 46, 47, 50, 53, 54, 58, 67
タゲリ	4	5, 10, 11, 22
タシギ	12	1, 4, 11, 16, 26, 31, 32, 46, 53, 54, 58, 61
タヒバリ	8	5, 10, 11, 22, 32, 58, 60, 67
チュウサギ	8	2, 5, 11, 23, 31, 32, 58, 67
チョウゲンボウ	15	1, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 22, 32, 37, 43, 50, 53, 58, 67
ツグミ	34	1, 2, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 19, 21, 22, 25, 26, 31, 32, 35, 36, 41, 43, 46, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 60, 61, 67
ツミ	7	2, 5, 6, 16, 31, 32, 67
トビ	9	7, 10, 15, 19, 22, 32, 50, 58, 67
ニシセグロカモメ	1	32

種 類	地区数	目撃された地区
ニュウナイスズメ	1	67
ノスリ	8	2, 10, 19, 22, 32, 50, 58, 67
ノビタキ	1	32
ハイタカ	5	11, 32, 50, 51, 67
ハシビロガモ	4	12, 46, 53, 54
ハジロカイツブリ	3	2, 32, 67
ハヤブサ	3	32, 43, 58
バン	10	1, 4, 19, 22, 26, 32, 53, 54, 58, 61
ヒドリガモ	19	1, 2, 4, 5, 6, 10, 11, 12, 16, 22, 32, 43, 46, 50, 53, 54, 58, 61, 67
ビンズイ	1	47
ベニマシコ	4	10, 32, 50, 67
ホオジロガモ	1	26
ホシハジロ	11	2, 5, 6, 10, 11, 16, 32, 50, 53, 58, 67
マガモ	13	4, 10, 12, 19, 26, 31, 32, 46, 53, 54, 58, 61
ミコアイサ	1	19
ミサゴ	4	10, 22, 32, 67
ムナグロ	6	5, 11, 22, 32, 58, 67
ユリカモメ	14	2, 5, 10, 11, 12, 16, 19, 22, 24, 26, 32, 50, 58, 67
ヨシガモ	4	19, 32, 50, 67
ヨシゴイ	1	67
ルリビタキ	2	2, 27
イソヒヨドリ	12	4, 5, 6, 12, 22, 32, 50, 51, 52, 53, 58, 59
トラツグミ	2	26, 32
ヒガラ	1	2
ショウドウツバメ	1	32
シロチドリ	1	54
アメリカヒドリ	1	6
ホオアカ	1	32
ガビチョウ	3	32, 51, 67
ホウロクシギ	1	32
ヤマジ	1	32
ヒクイナ	1	4

種 類	地区数	目撃された地区
コブハクチョウ	1	2
カラスバト	1	2
クロガモ	1	23
セッカ	1	10

参考資料

○令和6年度における活動の実績

松戸市地域環境調査研修会

日 付 令和6年11月18日（月）
場 所 松戸市勤労会館 会議室 BC
内 容 令和5年度地域環境調査報告会
野鳥観察に関する研修会 「野鳥観察の基礎知識」
講 師 公益財団法人 山階鳥類研究所 平岡 孝 様
参加者 23名（一般公募参加者含む）

第1回松戸市地域環境調査野鳥観察会

日 付 令和6年5月23日（木）
場 所 21世紀の森と広場
内 容 野鳥観察
参加者 20名



第2回松戸市地域環境調査野鳥観察会

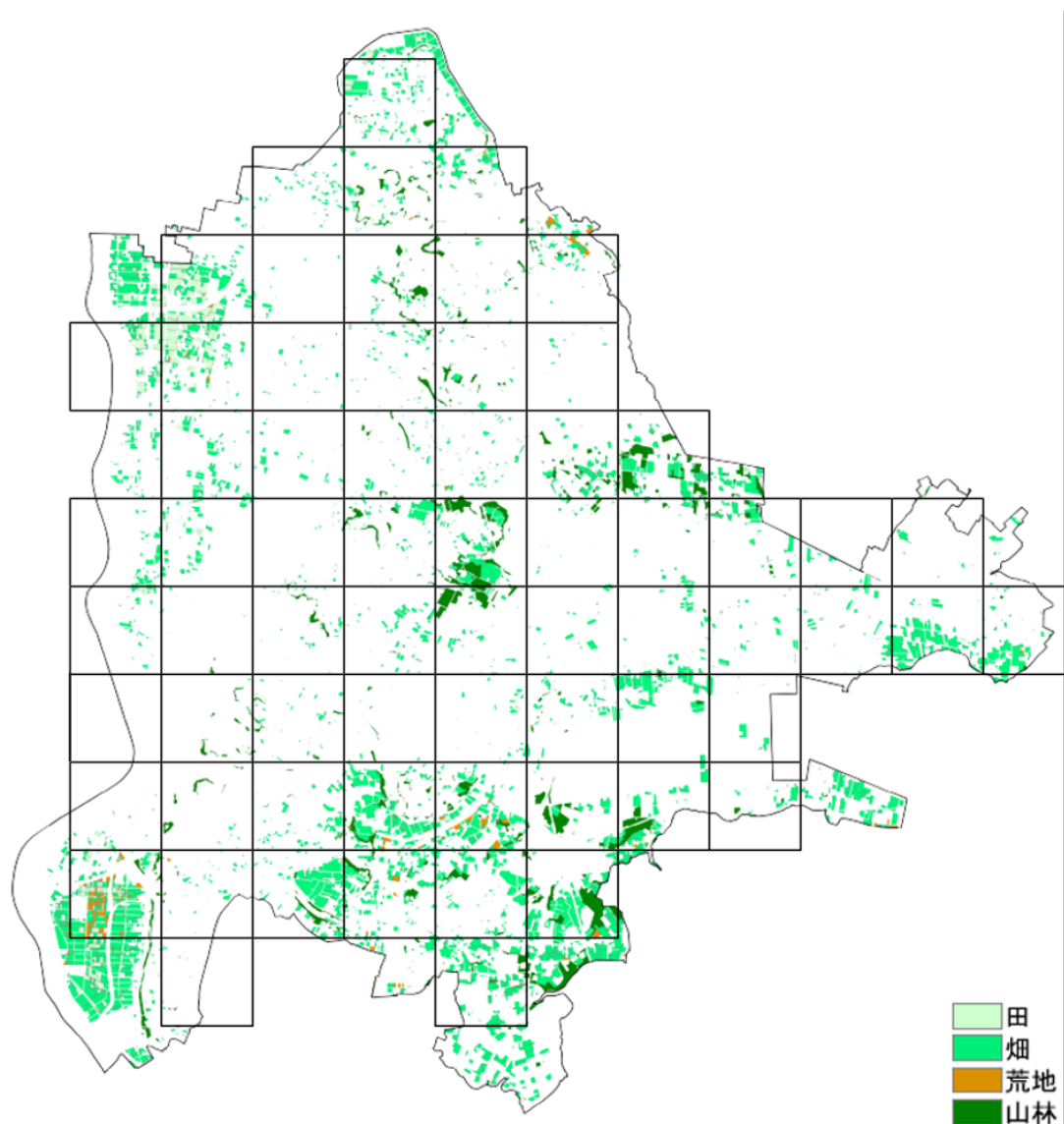
日 付 令和7年2月9日（日）
場 所 江戸川河川敷（ふれあい松戸川）
内 容 野鳥観察
参加者 15名（一般公募参加者含む）



○土地利用状況

土地利用状況調査は、平成 17 年度から平成 21 年度にかけて、調査員自身に野鳥観察とは違った目線で、地域の環境を知ってもらえるのではないかと目的から実施していましたが、平成 23 年度からは都市計画基礎調査より土地利用現況を掲載しています。

図ー8 土地利用状況



○特定外来生物

平成 27 年度から地域環境調査などでの活動において、特定外来生物やその他の生きものを目撃した際には、調査員の方に報告をお願いしているところです。

「特定外来生物」・・・外来生物（海外が起源のもの）のうち、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から環境省において指定されたものをいいます。

特定外来生物は、生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれます。また、原則として飼育・栽培・保管・運搬することが禁止されています。

目撃した場合には、写真を撮影の上、環境保全課に連絡いただくか、松戸市ホームページに専用のフォームがありますので、必要事項を入力の上、投稿してください。

専用フォーム

【松戸市 TOP⇒くらし⇒環境⇒自然環境⇒外来生物⇒特定外来生物の目撃情報投稿フォーム】

アドレス：

http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/kankyou/shizenkankyo/mokugeki_jyohou.html

(1) 市内で確認されている特定外来生物（一部抜粋）

・アライグマ



ペットとして飼われていたものが野生化した結果、生態系や農作物などに深刻な被害を与えています。見かけによらずどう猛な性格をしています。

大きさ	体長 40～60 cm、尾が 20～40 cm 全体で 60 cm～1m位になります。
特 徴	尾のしま模様が最大の特徴です。模様がなければ違う生きものです。

・アカミミガメ



アカミミガメは飼育下での寿命が 30 年ととても長生きです。成長すると甲羅の部分だけでオスは 20 センチメートル、メスは 30 センチメートル近くまで大きくなります。

※令和 5 年 6 月 1 日から条件付特定外来生物に指定されています。

大きさ	最大背甲長はオス 20 cm、メス 30 cmにも達する。
特 徴	甲はゆるやかなドーム状、頭部の両側に橙赤色の斑紋がある。

・オオキンケイギク



5月～7月頃にかけて咲き、道端や河原などに生息します。強靱なため一度定着すると他の在来植物などの生育場所を奪ってしまいます。

大きさ	草丈は 30～70 cm程度
特 徴	黄橙色の花びら、花びらの先端がギザギザ

・アレチウリ



一年生のつる植物で、開花期は8月～10月になります。全国の河川等で繁茂し、他の植物がほとんど生育しないなどの恐れがあります。

大きさ	長さは、数メートルから十数メートルに及ぶ
特 徴	葉がハート形の手のひらサイズ、ツルからは3～4本の巻きひげ

(2) 千葉県内で確認されている特定外来生物

今のところ市内で確認はされておりませんが、近隣市では確認されたものもいます。定着等を防ぐためにも調査の傍ら、目撃した場合には、情報提供をお願いいたします。

千葉県内で確認記録のある特定外来生物一覧			(令和 6 年 2 月 現在 46 種)		
哺乳類	1	アカゲザル	昆虫類	25	アカボシゴマダラ ★
	2	アカゲザル交雑種		26	セイヨウオオマルハナバチ
	3	マスカラット		27	アカカミアリ
	4	アライグマ ★		28	ヒアリ
	5	キョン		29	ツヤハダゴマダラカミキリ
鳥類	6	カナダガン	甲殻類	30	アメリカザリガニ (条件付) ★
	7	ガビチョウ		31	ウチダザリガニ
	8	カオグログビチョウ ★	クモ類	32	セアカゴケグモ ★
	9	カオジログビチョウ	軟体動物	33	カワヒバリガイ
	10	ソウシチョウ	両生類	34	ウシガエル ★
爬虫類	11	カミツキガメ ★	植物	35	オオキンケイギク ★
	12	ハナガメ		36	ミズヒマワリ
	13	ハナガメとニホンイシガメの交雑種		37	オオハンゴンソウ
	14	ハナガメとクサガメの交雑種		38	ナルトサワギク
	15	アカミミガメ (条件付) ★		39	オオカワヂシャ
魚類	16	オオタナゴ		40	ナガエツルノゲイトウ ★
	17	コウライギギ		41	アレチウリ ★
	18	チャネルキャットフィッシュ		42	オオフサモ ★
	19	カダヤシ ★		43	オオバナミズキンバイ
	20	ブルーギル ★		44	ボタンウキクサ
	21	コクチバス		45	アメリカオオアカウキクサ
	22	オオクチバス ★		46	ナガエモウセンゴケ
	23	ストライプトバス		★市内で確認しているもの	
	24	ショートノーズガー			

※「千葉県生物多様性ハンドブック」から抜粋

(3) 近年話題になった特定外来生物

・ヒアリ（千葉県内確認あり）



南米中部原産で、日本には港湾などのコンテナに紛れるなどして見つかっています。攻撃性が強く、巣などに刺激を与えると集団で襲いかかります。

大きさ	2・5mm～6mm程度 体の色は全体的に赤茶色
特 徴	背中に2つのこぶ。
備 考	在来のアリの中にも体が赤茶色のアリはいます。赤茶色だからといって必ずしもヒアリとは限りません。

・セアカゴケグモ（松戸市内確認あり）



地面や人工物の裏など日当たりの良い暖かい場所に営巣します。攻撃性はありませんが、むやみに近づくと噛まれる恐れがあります。

大きさ	メスは大きさが1cm程度、脚を広げると約3cm。オスはその半分
特 徴	メス：背中に縦に赤い斑紋有り。 オス：斑紋無し。

○その他の生きもの

地域環境調査では、先に挙げた特定外来生物の他、調査員の方が興味を持った生きものなどについても報告をいただいているところです。

調査の傍ら、気づいた生きものや珍しい生きものがありましたらご報告いただいています。

＜トンボの目撃情報＞

19 地区	シオカラトンボ・コシアキトンボ・オオシオカラトンボ・アカトンボ・チョウトンボ・イトトンボ・オニヤンマ
26 地区	シオカラトンボ・コシアキトンボ・ウチワヤンマ・アカトンボ・オオシオカラトンボ・オニヤンマ・イトトンボ
27 地区	コシアキトンボ・アカトンボ・オニヤンマ・オオシオカラトンボ・アカトンボ・シオカラトンボ
39 地区	シオカラトンボ・アカトンボ
43 地区	ハグロトンボ
47 地区	アカトンボ

＜蝶の目撃情報＞

7 地区	ムラサキシジミ・ウラギンシジミ・キチョウ・キアゲハ・ウラギンシジミ・クロコノマチョウ・イチモンジセセリ・アオスジアゲハ・アカタテハ・クロアゲハ・キタキチョウ・ベニシジミ・ヤマトシジミ・モンシロチョウ・モンキチョウ
19 地区	モンキチョウ・モンシロチョウ・アゲハチョウ・クロアゲハ・シジミチョウ・アオスジアゲハ
26 地区	モンキチョウ・アオスジアゲハ・クロアゲハ・モンシロチョウ・シジミチョウ・モンキアゲハ・アゲハチョウ
27 地区	モンキチョウ・アゲハチョウ・モンシロチョウ・シジミチョウ
46 地区	モンシロチョウ・アゲハチョウ
47 地区	モンシロチョウ・シジミチョウ・アゲハチョウ・クロアゲハ・アオスジアゲハ

〈その他生きものの目撃情報〉

7 地区	ハナアブ・ユスリカ・イエバエ・キンバエ・マルハナバチ・クマンバチ・アカボシゴマダラ・ナナホシテントウ・トノサマバッタ・ツリアブ・ハナアブ・ショウリョウバッタ・スズメバチ・ハラビロカマキリ・クサキリバッタ・アブラゼミ・ミンミンゼミ・ツクツクホウシ・ツクツクホウシ・アオカナブン・ウスバカゲロウ・アメリカザリガニ・コイ
9 地区	タヌキ
12 地区	クマゼミ
19 地区	マゴイ・ヒゴイ・ザリガニ・ショウジョウバッタ・オンブバッタ・コバネイナゴ・コオロギ・オオカマキリ・ヒシバッタ・ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・ツクツクボウシ・アブラゼミ・ヒグラシ・シマヘビ・カナヘビ・アカミミガメ・ウシガエル・アカガエル・ミスジマイマイ
25 地区	ヒグラシ・ミンミンゼミ・ツクツクボウシ
26 地区	マゴイ・ヒゴイ・ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・ツクツクボウシ・アブラゼミ・ヒグラシ・タカチホヘビ・ウシガエル・ニホンアカガエル・アカミミガメ・ショウリョウバッタ・ナナフシモドキ・トノサマバッタ・オンブバッタ・コオロギ・ツユムシ・ヒシバッタ・ヤブキリ・コバネイナゴ・カブトムシ
27 地区	ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・ツクツクボウシ・アブラゼミ・ヒグラシ・コオロギ・トノサマバッタ・ツユムシ・アカミミガメ
29 地区	ヤモリ・カナヘビ
37 地区	コウモリ・ヤモリ
39 地区	アオダイショウ・カメムシ
40 地区	コウモリ
46 地区	アナグマ
47 地区	オンブバッタ・カマキリ・ショウリョウバッタ・トノサマバッタ・コオロギ・アオマツムシ・ツユムシ・ミンミンゼミ・ツクツクボウシ・アブラゼミ・トカゲ・カナヘビ
67 地区	アオダイショウ

○調査員の方からの提供写真（一部抜粋）
調査員の方から報告のあった野鳥の写真を紹介します。

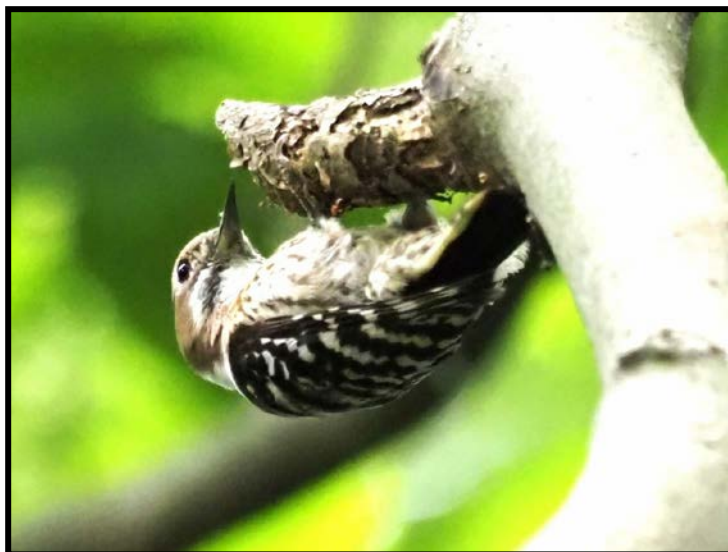


ヒドリガモ

撮影者：塚原調査員

オナガ

撮影者：前島調査員

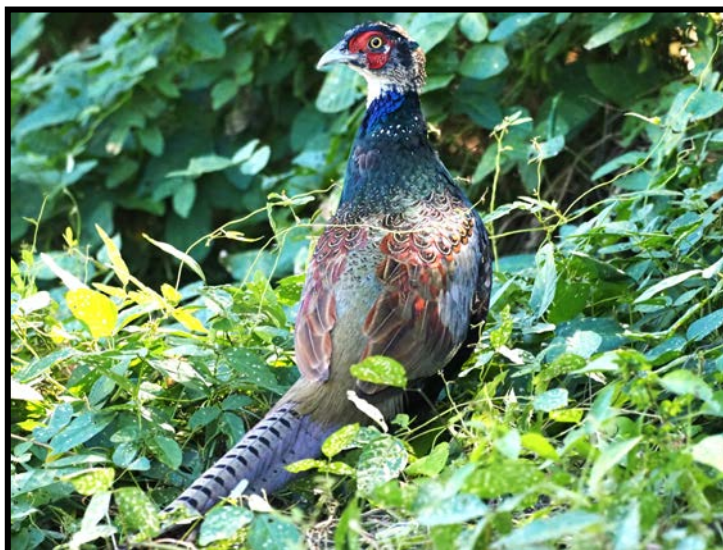


コゲラ

撮影者：岸岡調査員

キジ

撮影者：岸岡調査員



サシバ

撮影者：小松調査員

カワウ

撮影者：前島調査員



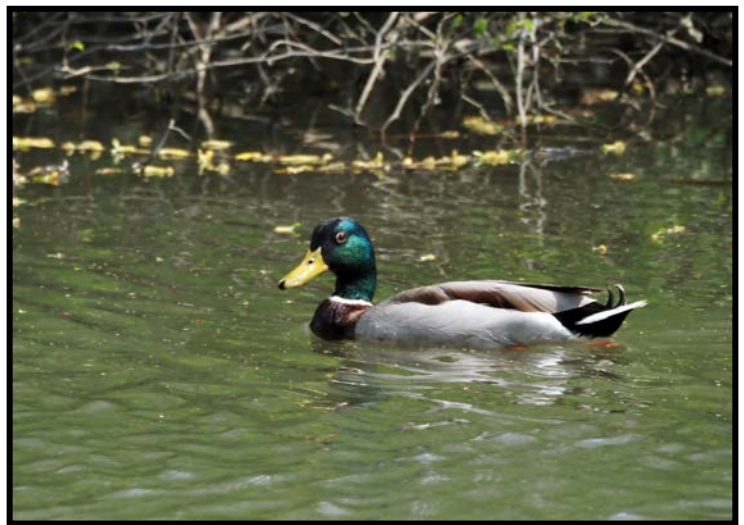


モズ

撮影者：前島調査員

マガモ

撮影者：杉田調査員



コブハクチョウ

撮影者：金子調査員



タヒバリ

撮影者：岸岡調査員

タシギ

撮影者：小松調査員



ヤマガラ

撮影者：小松調査員

○地域環境調査員からの短信 （一部抜粋）

地域環境調査では年2回（半年に1回）、調査員が事務局へ調査票を提出していただきます。その中で調査員から市へ短信が寄せられることがあり、身近な環境の変化や出来事を報告していただいています。ここでは、それらの一部をご紹介します。

令和6年度調査員短信（前期）

地区	
1	・坂川沿いのグランド近くの草むらで、雄のキジの悠然と構える姿を資近距離で目にしてびっくりした。
2	・小金城址（大谷口城）公園でコゲラを2週続けて発見しました。山奥に生息すると思っていましたが、こんなに身近にいるとは思いませんでした。感動しました。
6	・中央公園で今年もツミの子育てが見られ4羽が無事巣立って行った。公園は子供たちの遊び場であり、シニアのゲートボールもあり、日中は人の出入りも多くまたお祭りのちょうちんも下がり賑わうので、うまく子育てができるのか、無事成長できるのか心配させられた半面、巣立ちから採餌、仲良く林の中を飛び回る様子、日に日に成長していく姿を観察できたことは、6区の一大イベントでした。但し公園整備の後大きく育った樺の何本かは枯れ始めたので早急に手当が必要と思われる。
11	・旭町水辺広場にはオオヨシキリ、コサギ、アオサギなどが飛来し、ミジンコを観察できます。2024年には重機が入り、油が浮いていましたが、今年はそれがなく植樹した梅が咲いていました。 ・オオタカが足に小鳥をつかんで上空を飛んでおりハシボソガラスにかなり絡まれていたが逃げ切った。 ・田んぼでセッカのさえずりが聞かれたが、その後稲刈りが終わるとともに聞かれなくなった
12	・カワセミ雄が魚を捕り、頭を外側にくわえなおし他者への給餌の体勢で飛び去った。
16	・自宅近くの畑横のフェンスに「ツミ」を見る。16区では、小生が観察してから初めてである。
21	・金ヶ作地区は「金ヶ作自然公園」「松戸市育苗圃」を基点として、「囲いやま」「金ヶ作野中」「三吉」「立切」の森等が点在しているため、鳥類、トンボの飛来、又生息が見られる。特に今回私にとって初めて『フクロウ』を確認できた。そこは「三吉の森」の竹樹木の中で、休息している様で、この地区の環境の静けさを感じた。
22	・坂川の分かれの六間川、流れが良いので水草が育ち、それをエサにしているオオバン、カモ類、カワウが年々多くやって来る。 ・残念なのが松戸市の目玉である濾過槽装置の故障で、ふれあい松戸川の水質が悪化、自然豊かであった水生生物がいなくなり、自然のバロメーターであるトンボ等が減っている。
29	・近所の大木が切られたので鳥が少なくなりました。

31	<ul style="list-style-type: none"> ・旧クリーンセンター横の貯水池では初夏の午前中に何度かツミが見れました。またここ数年の観測からこの貯水池はカワセミの繁殖地・生息地になっていると判断します。そこから下流の上大津川（柏市側の呼称は上大津支川）ではサンバも見られます。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・四月になるとパッタリ野鳥の姿が消えウグイスの声がかすかに春を告げている。 ・例年になく渡りの遅い「ツグミ・タヒバリ・ヒドリガモ・コガモ」五月の終わりまでいた。 ・今年は記録的な暑い日が続き、夏日が何と 145 日あったとか！中でも六月からの猛暑は観察現地へ出ることも大変で、毎日続けているデータもつかまけてしまい、戦意喪失してしまう。 ・自分もそうであるが「カラス・キジ・スズメ」など、暑さで口を開けていて異常さがわかる。 ・何年も観察している河川敷だが、上空を「ホウロクシギ 2 羽」が通過した。
36	<ul style="list-style-type: none"> ・春先に聞こえていたウグイスの鳴き声が 7 月まで聞こえました。
41	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメが昨年より多く見られるようになりました。「地域ネコ保護活動」により去勢野良猫が増え野良猫が全体的に減少してきたことも一つの原因かもしれません。（近所では野良猫をあまり見かけません）
43	<ul style="list-style-type: none"> ・角町眼鏡橋から宮前町松戸神社～春雨橋までの坂川流域に生息するハグロトンボの生息状況を 10 年に渡り観察。2023 年度は 9 月上旬 25 匹、2024 年度同時期わずか 10 匹。ハグロトンボの生息数が激減した背景として二つの環境変化が推定できます。今年は 6 月から 9 月までの 4 か月の長期にわたり猛暑が続き、坂川に流入する雨水量が現象しました。また坂川流域の景観整備の一環として 7 月に多くの樹木を伐採しました。2025 年度以降もハグロトンボが生息する環境は厳しさが続くと思定されますが、観察を継続します。
51	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉大園芸学部駐車場そばの植栽でガビチョウが囀っていた。この日以降は声も姿もなかったため、移動の途中と思われた。今後この地域でガビチョウが繁殖するかどうか注意してみたい。 ・6/3 JR 車両基地そばの高台にある市営住宅屋上でイソヒヨドリが囀っていた。その後その後格納庫の屋根に飛び降りた。6/11 にも同じ場所で囀っており、8/6 には若鳥が 2 羽市営住宅近くを飛び回っていた。この周辺で繁殖したものと思われた。この地域での繁殖は初めてだった。

53	<ul style="list-style-type: none"> ・今年も大山橋の橋げたにイワツバメが営巣した。4月20日にそばの岸べりで泥を集める姿がみられ、7月まで橋下を飛び交っていた。この周囲では国分川の浚渫工事が行われており、心配したが、巣を放棄することはなかったようだ。 ・ウグイスの囀りが4月から8月まで継続して聞かれ、この地域で繁殖したものと思われた。 ・6月17日：獅子舞橋下流でカルガモが4羽の雛を連れていた。6月26日には分水路の中洲で雛が固まって寝ている姿があった。 ・7月6日：国分川沿いの空き地でコチドリの成鳥1羽、若鳥3羽の姿をみた。この周辺で繁殖したものと思われた。 ・8月23日：コムクドリ20羽ほどの群れが馬川橋そばの電線にとまっていた。渡りの途中と思われた。 ・8月23日：チョウゲンボウが和名ヶ谷の焼却炉塔にとまっていた。9月7日には、そばの新東京病院の上空でカラスと追いかけてっこをしていた。
54	<ul style="list-style-type: none"> ・国分川土手沿いの樹木が、桜を除いて全て根元から伐採されてしまいました。紅白の花がきれいな芙蓉や小鳥のエサになる実が付く樹木などがすっかり無くなりました。「桜まつり」のために、桜以外の樹木を伐採したのですが、小鳥たちの隠れ場所やエサが無くなってしまい残念です。
58	<ul style="list-style-type: none"> ・変わりつつある矢切の耕作地。高齢化の波には勝てず、畑を手放す方が多く荒地が増えてきた。草丈の高い植物に覆われて、普段見られるサギ類、カモ類も環境の悪化が姿が少ない。
67	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草がはびこり、除草作業をしてもすぐ元の草丈にもどり、中でも「セイバンモロコシ・オオブタクサ・アレチウリ・イシミカワ・カナムグラ」は通路をふさぎ、調査できる状態でない。鎌、ハサミで除草してみたが暑さで負けてしまう。 ・野鳥の数も少なかったが、昆虫の数も少なかった。 ・今年度は土手や河川敷の草刈り回数が少なかったもので、ふれあい松戸川の林に入って観察することが難しかった。5月半ばから7月の終わり近くまでと、8月半ばから9月半ばまでの期間は、雑草が伸びて林に入れなかった。観察は林の外側の道で行ったが、中の方が鳥が沢山いただろうと思うと残念だった。土手に上がる階段も雑草で通れなくなっており、とても危険だった。

令和 6 年度調査員短信（後期）

地区	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 0 月 2 8 日 コサギが神明堀にあるステンレス箱の周りをぐるぐる、多分映っている自分の姿をライバル視。 ・ 1 2 月 タゲリを初めて確認。2 月、3 月に連続して見る事が出来た。2 月に観察したオオタカは、実際ハイタカかどうか不明。風切り羽でオオタカと判定した。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 月にモズの幼鳥を見た。この時期の幼鳥はめずらしい。繁殖時期が変わってきたのだろうか？
51	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 月 2 3 日：千葉大園芸学部の芝生でムクドリとヒヨドリが採餌していると、その群れにハイタカが突っ込んできた。ムクドリ、ヒヨドリは間一髪で逃げて飛び去った。 ・ この冬はツグミが来るのが遅く、数も少なかった。同様にシロハラの数も少なかった。 ・ 1 2 月中旬に入ってもイチョウの黄葉が 6 ～ 7 割残っていたり、1 2 月下旬までカエデの紅葉が見られるなど、暖冬の影響だろうか？
53	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 0 月 2 7 日：獅子舞橋近くの国分川にコガモ 3 0 羽（エクリプス♂、♀）、ハシビロガモ（エクリプス♂）が泳いでいた。このころから 4 月までカモ類が国分川で見られるのだが、この冬は数が少なかった。川の浚渫工事の影響か、暖冬の影響か？ ・ 国分川（獅子舞橋～黎明橋：1. 2 k m）で見られたカモをカウントした。 昨年（2 0 2 4 年 1 月 1 2 日）と今年（2 0 2 5 年 1 月 1 1 日）を比較すると下記の通り、今年の方が種数、個体数ともに少なかった。 2 0 2 4 年：コガモ 1 0 2 羽、オナガガモ 1 1 羽、マガモ 5 羽、ハシビロガモ 4 羽、ヒドリガモ 4 羽、カルガモ 2 羽、オカヨシガモ 4 羽、計 7 種、1 3 2 羽 2 0 2 5 年：コガモ 5 2 羽、オナガガモ 5 羽、マガモ 5 羽、ハシビロガモ 7 羽、ヒドリガモ 1 羽、カルガモ 8 羽、計 6 種、7 8 羽 ・ 3 月 3 1 日：大山橋付近をイワツバメが 6 ～ 7 羽飛び交っていた。今年も子育てをしてくれるだろうか？
59	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 月 1 8 日：早朝に車で外出し、9 時 2 0 分に戻ると、駐車場にハクビシン（若い個体）がいて、そばの道路を横断して西方へ走り去った。西方には JR の車両基地があり、斜面が樹林と藪になっている。そこを主なすみかとしているハクビシンが出てきていたのだろうか？
60	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月 1 0 日：大橋の斜面林方向から「キーコキー」という囀りが聞こえてきた。双眼鏡でのぞくと、1 0 羽ほどのイカルの群れが盛んにエノキの若芽を食べていた。また、3 月 1 5 日には千葉大園芸学部（5 1 地区）で 1 羽のイカルが囀っていた。これらの地域でイカルを見ることは稀で、移動途中に立ち寄ったものと考えられた。

61	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月15日：ベルク横の調整池にクイナが1羽いた。クイナは初めて見たが、この調整池では今年バンが繁殖し、毎回3～5羽のバンを見ることができた。 ・ 1月6日：胡録神社のケヤキにつくられたカラスの古巢のそばにオオタカ（若）がとまっており、その上空をハシブトガラスとハシボソガラスが一緒になって鳴きながら旋回していた。 ・ 3月18日：ベルク横の調整池にカルガモのペアが2組、並んで寝ていた。ここで繁殖するだろうか？
67	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月にハシブトカラスが青いハンガーを使って巣作りをしていた。

おわりに

平成 11 年度から始まった「生きもの調査」は、平成 17 年度から「地域環境調査」と形を変えて、令和 6 年度も報告書としてまとめることができました。

ご協力をいただいた調査員の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

この調査は市民の皆さんによるボランティアで実施しており、調査員の知識や経験、また各調査地区における調査員の人数や、調査頻度、調査場所、時間帯、天候等によっても観察結果に差が生じると考えられます。

そのため、今回報告された結果において、一概に報告の少ない地域が必ずしも野鳥が少ないとは判断できず、前後の調査結果も踏まえて傾向を把握していく必要があると思われます。少なくとも今回報告のあった野鳥が存在する、若しくはそれ以上の野鳥が存在する可能性は否定できないと考えられます。

松戸市環境基本計画で掲げる「めざすまちの将来像」の創造は、調査員や環境ボランティアの方々にとどまらず、そこに住む市民一人ひとりが地域の環境について知り、関心を高め、自ら行動することから始まります。

この調査が多少なりとも足掛かりとなれば幸いです。

※調査結果は、後日、松戸市のホームページからご覧いただけます。

市ホームページのトップページから【ホーム ⇒ くらし ⇒ 環境 ⇒ 松戸市地域環境調査 ⇒ 地域環境調査結果】と進んでください。

アドレス：

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/kankyou/shizenkankyo/tiiki-tyouasa/chiikikankyou_kekka.html



松戸市地域環境調査報告書

令和 7 年 11 月

○発行 松戸市

〒271-8588

松戸市根本 387 番地の 5

TEL : 047-366-1111

URL : <http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

○編集 松戸市 環境部 環境保全課

TEL : 047-366-7336

FAX : 047-366-1325

イラスト提供：公益財団法人 日本鳥類保護連盟

令和 7 年 11 月 14 日発行

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断の基準を満たす用紙を使用しています。

総合評価値 80

古紙パルプ配合率：100%

白色度：82%

